

2 都市交通の現状と問題・課題の整理

1. 都市計画道路の整備状況

- 多治見市の都市計画道路は、計画延長 81,970m のうち、平成 28 年 4 月現在の改良済延長（概成済み除く）は 44,098m であり、整備率は約 54%となっています。
- 各路線の整備状況については、下図のとおりとなっています。

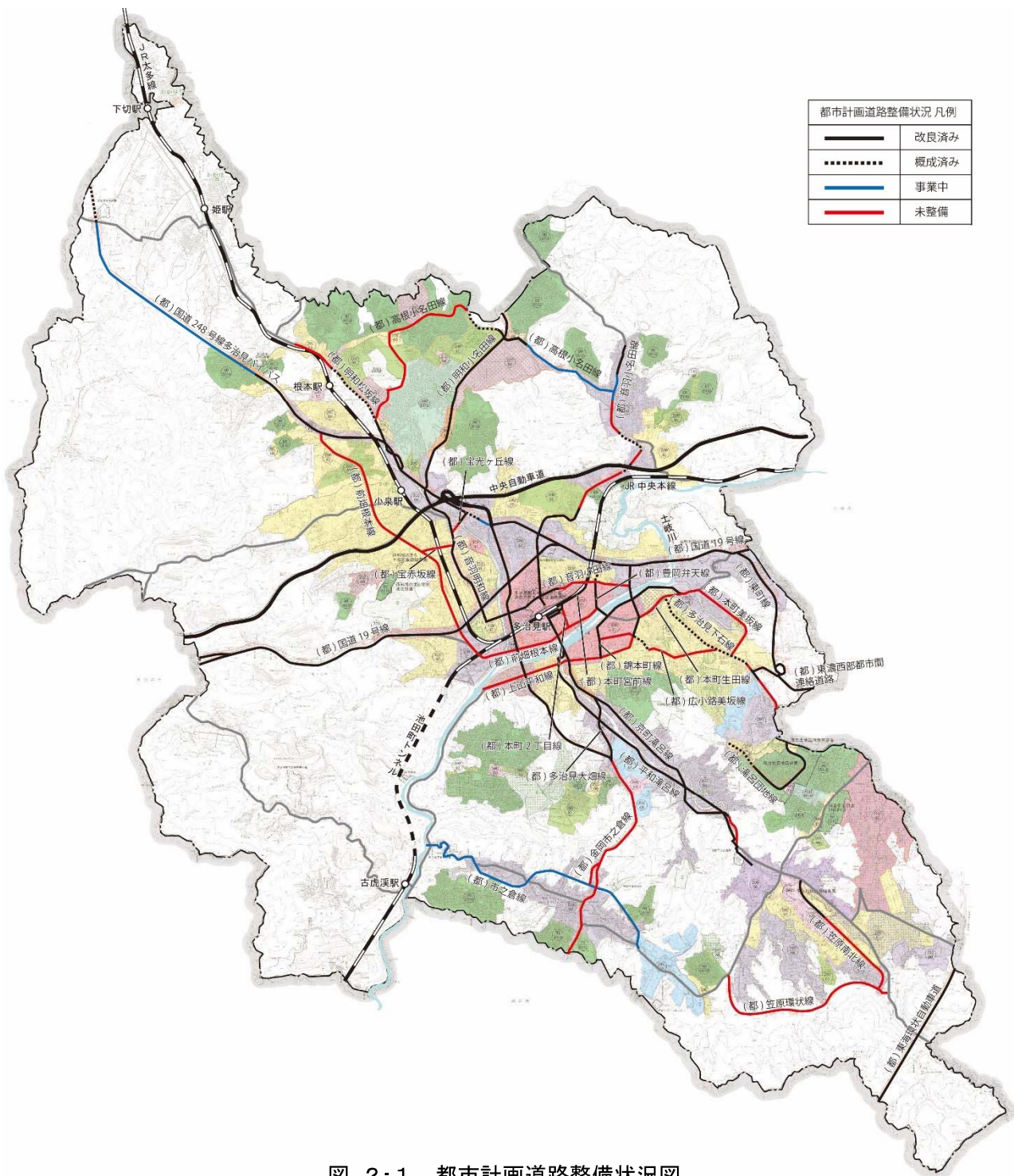


図 2・1 都市計画道路整備状況図

（多治見市資料）

表 2・1 都市計画道路整備状況一覧表（平成 28 年 4 月現在）

都市計画道路					標準幅員 (m)	計画延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率	告示 (当初)
番号		種別	状況						
1	3	1	東海環状自動車道	整備済	10.75×2	1,970	1,970	100%	H10.4.10
3	3	1	国道19号線	整備済	23.0	7,920	7,920	100%	S34.9.16
3	3	2	国道248号線多治見バイパス	事業中	25.0	8,200	4,400	54%	S40.3.31
3	4	3	金岡市之倉線		16.0	6,500	3,700	57%	S40.3.31
3	4	4	上山平和線		16.0	3,060	930	30%	S34.9.16
3	5	5	本町美坂線		12.0	1,960	0	0%	S34.9.16
3	4	6	豊岡弁天線		16.0	1,280	320	25%	S34.9.16
3	4	7	音羽小名田線		16.0	4,730	2,690	57%	S40.3.31
3	4	8	前畑根本線		16.0	4,780	0	0%	S40.3.31
3	4	9	本町2丁目線		16.0	240	0	0%	S34.9.16
3	4	10	明和小名田線	整備済	20.0	2,630	2,630	100%	S50.7.11
3	5	11	多治見下石線		12.0	2,000	50	3%	S34.9.16
3	6	12	本町生田線	整備済	11.0	1,120	1,120	100%	S34.9.16
3	6	13	多治見大畑線	整備済	8.0	2,100	2,100	100%	S14.7.5
3	6	14	京町滝呂線		8.0	2,860	2,500	87%	S43.4.20
3	6	15	明和松坂線		11.0	2,230	650	29%	S43.4.20
3	5	16	広小路美坂線		12.0	1,600	0	0%	S34.9.16
3	4	17	音羽明和線	整備済	16.0	2,250	2,250	100%	S40.3.31
3	6	18	本町宮前線	整備済	11.0	570	570	100%	S34.9.16
3	5	20	高根小名田線	事業中	13.0	4,500	360	8%	S50.7.11
3	5	21	市之倉線	事業中	12.0	3,840	180	5%	S60.7.12
3	5	22	滝呂団地線		12.0	1,820	1,520	84%	S60.7.15
3	4	23	東町線	整備済	17.0	2,270	2,270	100%	S60.7.15
3	4	24	宝赤坂線		18.0	400	0	0%	S63.3.29
3	5	25	宝光ヶ丘線		12.0	300	200	67%	S63.3.31
3	3	27	東濃西部都市間連絡道路	一部事業中	28.0	350	0	0%	H10.4.10
3	4	28	音羽小田線		18.0	1,260	388	31%	H11.4.9
3	5	29	錦本町線	整備済	15.0	730	730	100%	H14.4.9
3	5	30	笠原南北線		14.0	1,860	620	33%	H16.2.23
3	5	31	笠原環状線		11.0	2,610	0	0%	H16.2.23
8	7	2	平和滝呂線	整備済	4.0	4,030	4,030	100%	S57.1.8
計			31路線	—	—	81,970	44,098	54%	—

2. 交通需要の背景

1. 人口の状況

① 将来人口の見通し

- 第7次多治見市総合計画における将来人口の見通しによると、今後は人口減少が続くものと予想されています。

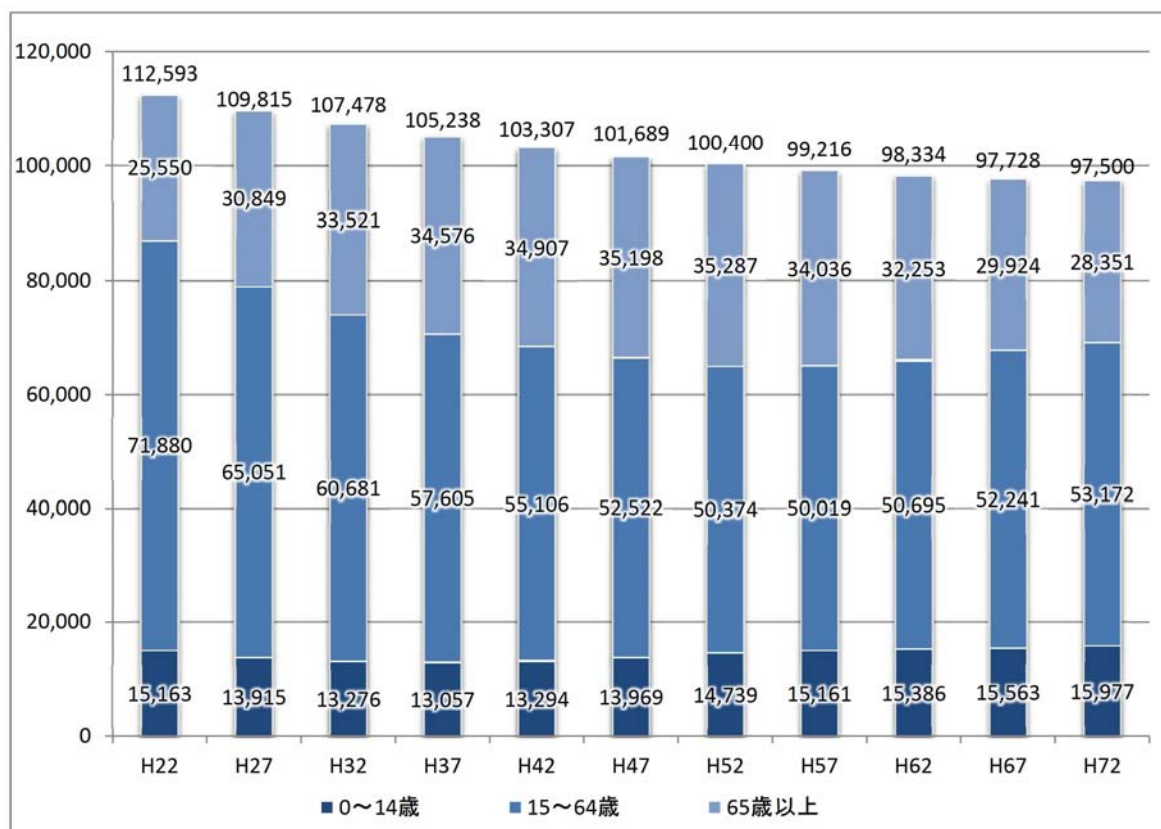


図 2・2 将来人口の見通し

(第7次多治見市総合計画)

②人口分布状況

- 平成 22 年国勢調査による夜間人口の分布状況を見ると、多治見駅周辺の既成市街地や、旭ヶ丘・明和をはじめとした郊外の住宅団地において人口密度が高くなっています。

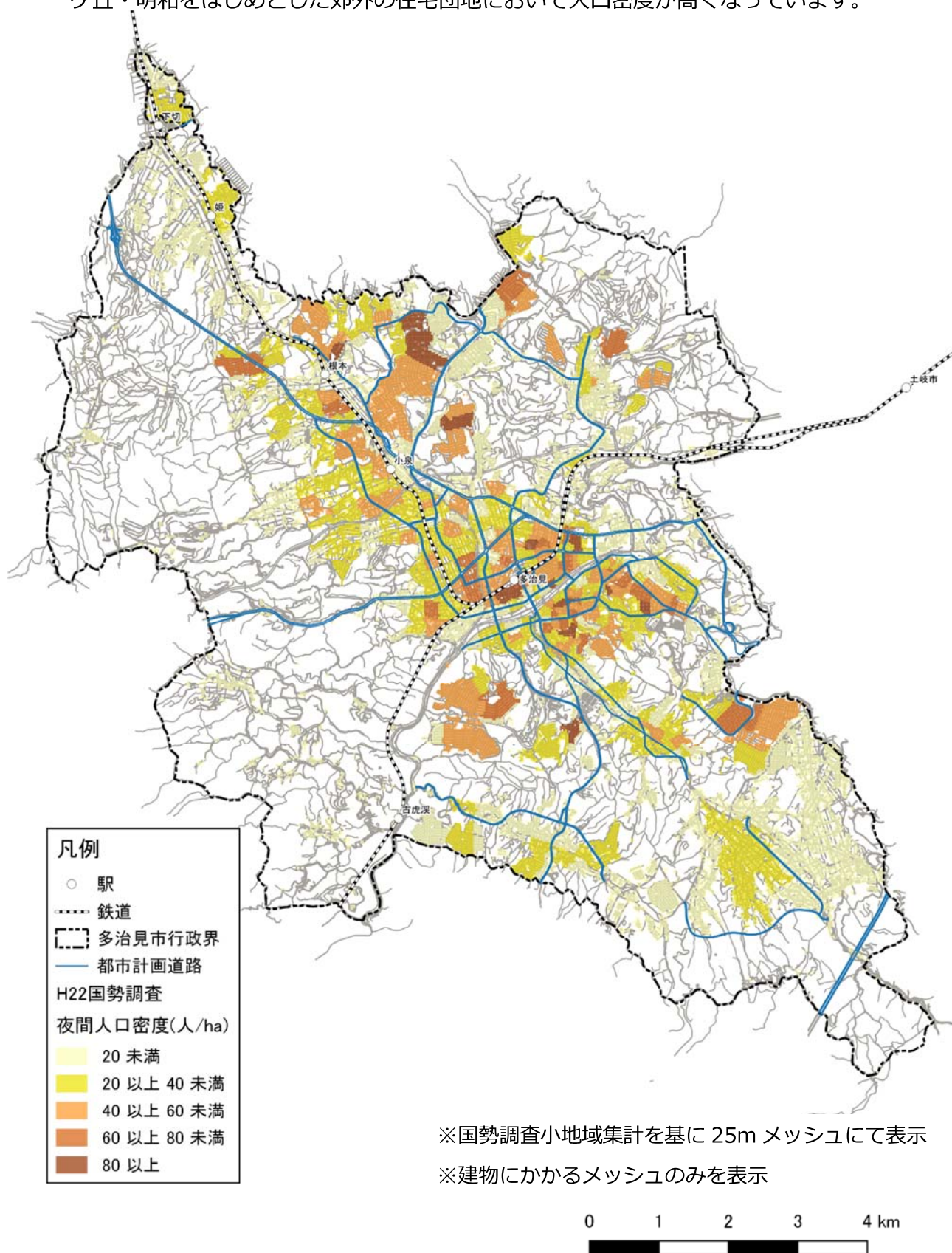


図 2・3 人口分布状況図（夜間人口密度）

（H22 国勢調査小地域集計）

③高齢者（65 歳以上）分布状況

➤ 65 歳以上の高齢者人口割合は、郊外の農村部や古くからの集落において高くなっています。

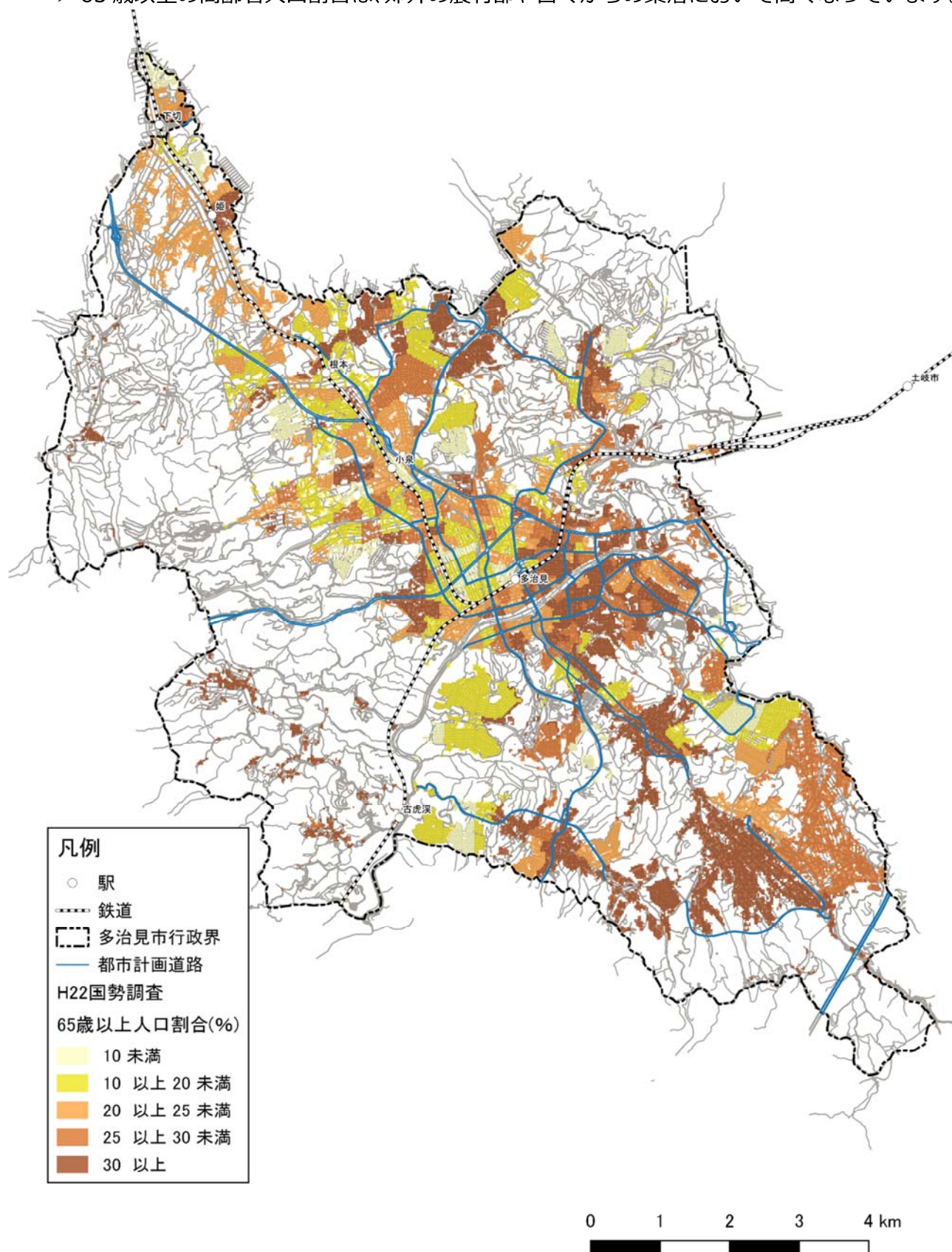


図 2・4 人口分布状況図（65 歳以上人口割合）

（H22 国勢調査小地域集計）

④従業者分布状況

- 従業者数は、多治見駅周辺の既成市街地において人口密度が高くなっていますが、郊外の工場立地地区においてもやや高くなっています。

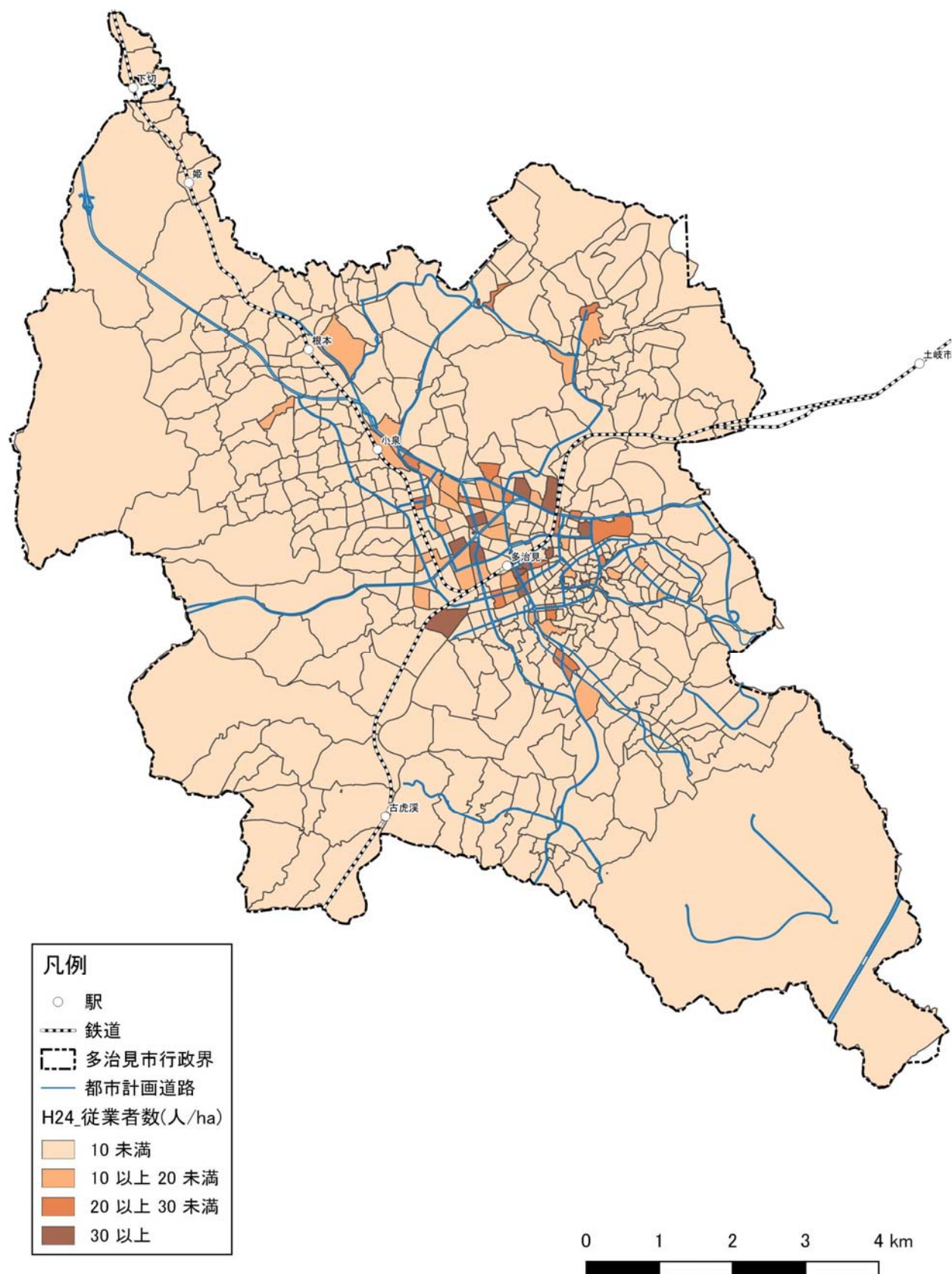


図 2・5 従業者分布状況図

(H24 経済センサス)

2. 産業の状況

①産業別指標

- 産業別にみると、事業所数、従業者数、製造品出荷額等とともに窯業・土石製品製造業の占める割合が高くなっています。

表 2・2 多治見市の工業指標

	多治見市		
	事業所数 (箇所)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
製造業計	286	5,819	11,660,506
食料品製造業	12	886	1,694,204
飲料・たばこ・飼料製造業	3	67	890,173
繊維工業	4	44	79,619
木材・木製品製造業(家具を除く)	2	33	X
家具・装備品製造業	6	40	82,753
パルプ・紙・紙加工品製造業	19	227	227,076
印刷・同関連業	7	107	145,587
化学工業	3	52	363,281
石油製品・石炭製品製造業	3	24	113,030
プラスチック製品製造業	7	214	329,627
ゴム製品製造業	1	7	X
窯業・土石製品製造業	167	3,007	5,760,859
金属製品製造業	11	144	217,793
はん用機械器具製造業	5	84	122,136
生産用機械器具製造業	16	154	208,005
業務用機械器具製造業	3	47	53,665
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1	122	X
電気機械器具製造業	3	47	49,687
輸送用機械器具製造業	10	485	1,050,849
その他の製造業	3	28	33,006

(Xは秘匿を示す)

(H26 工業統計表)

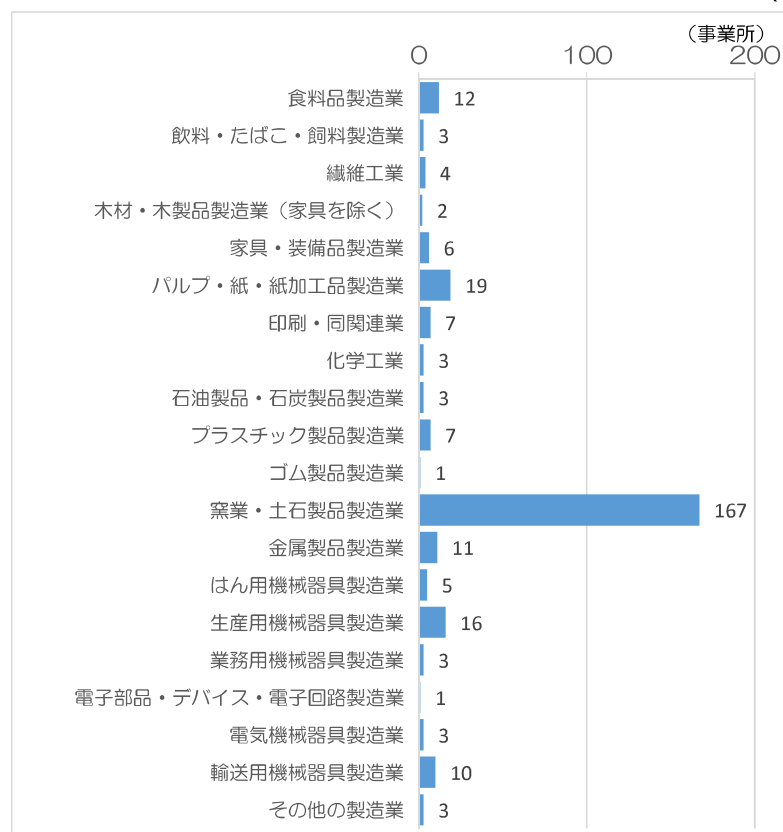


図 2・6 多治見市の産業別事業所数

(H26 工業統計表)

②事業所数・従業員数・製造品出荷額等の推移

- 事業所数、従業者数は減少傾向にあります。また、製造品出荷額等は、平成 21 年のリーマンショックをきっかけとした世界同時不況の影響により減少しました。その後はやや回復傾向にあります。

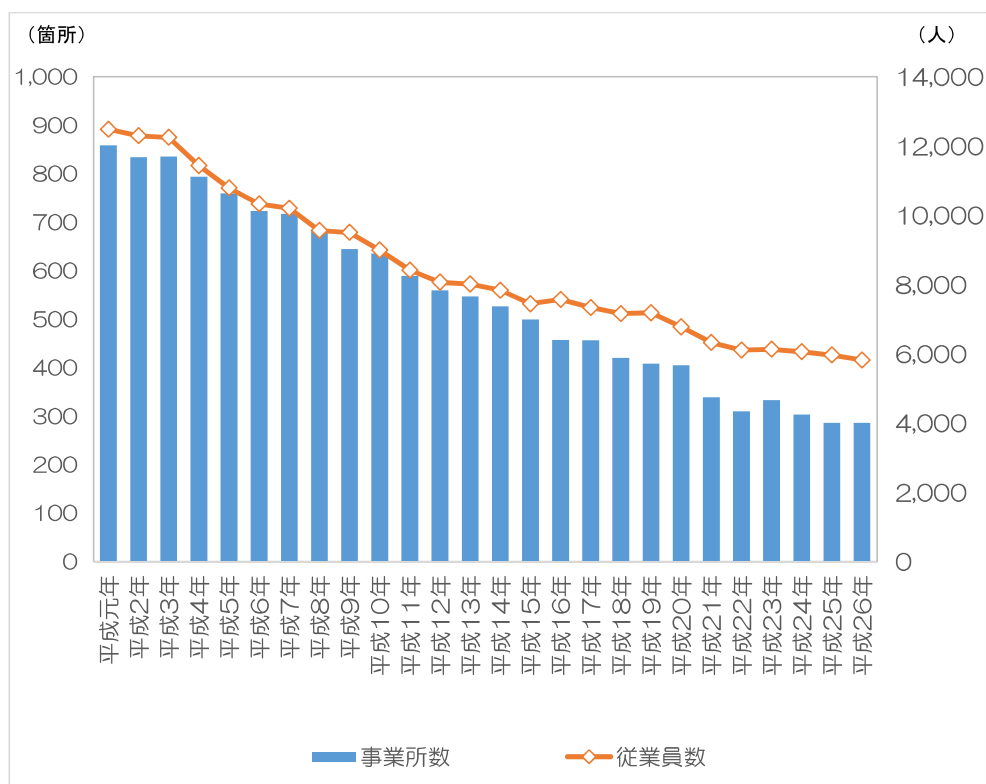


図 2-7 事業所数、従業者数の推移

(工業統計表)

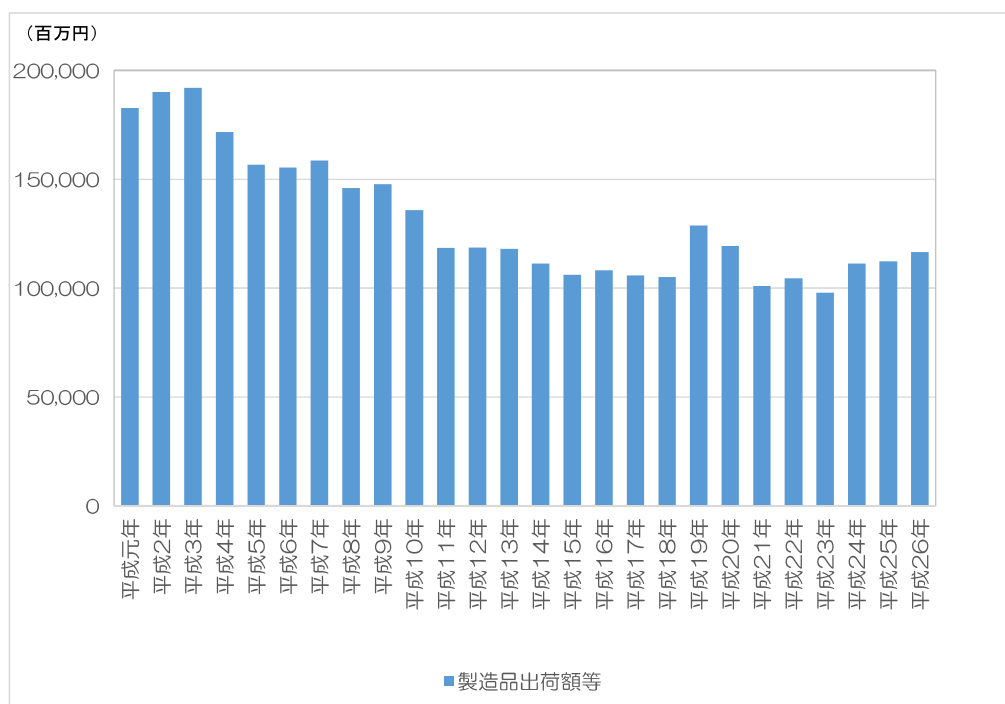


図 2-8 製造品出荷額等の推移

(工業統計表)

③商業施設・工場の立地状況

- 1,000 ㎡以上の商業施設は国道 19 号、国道 248 号をはじめとした幹線道路沿いに多く立地しており、工場は郊外部など市内に広く立地しています。

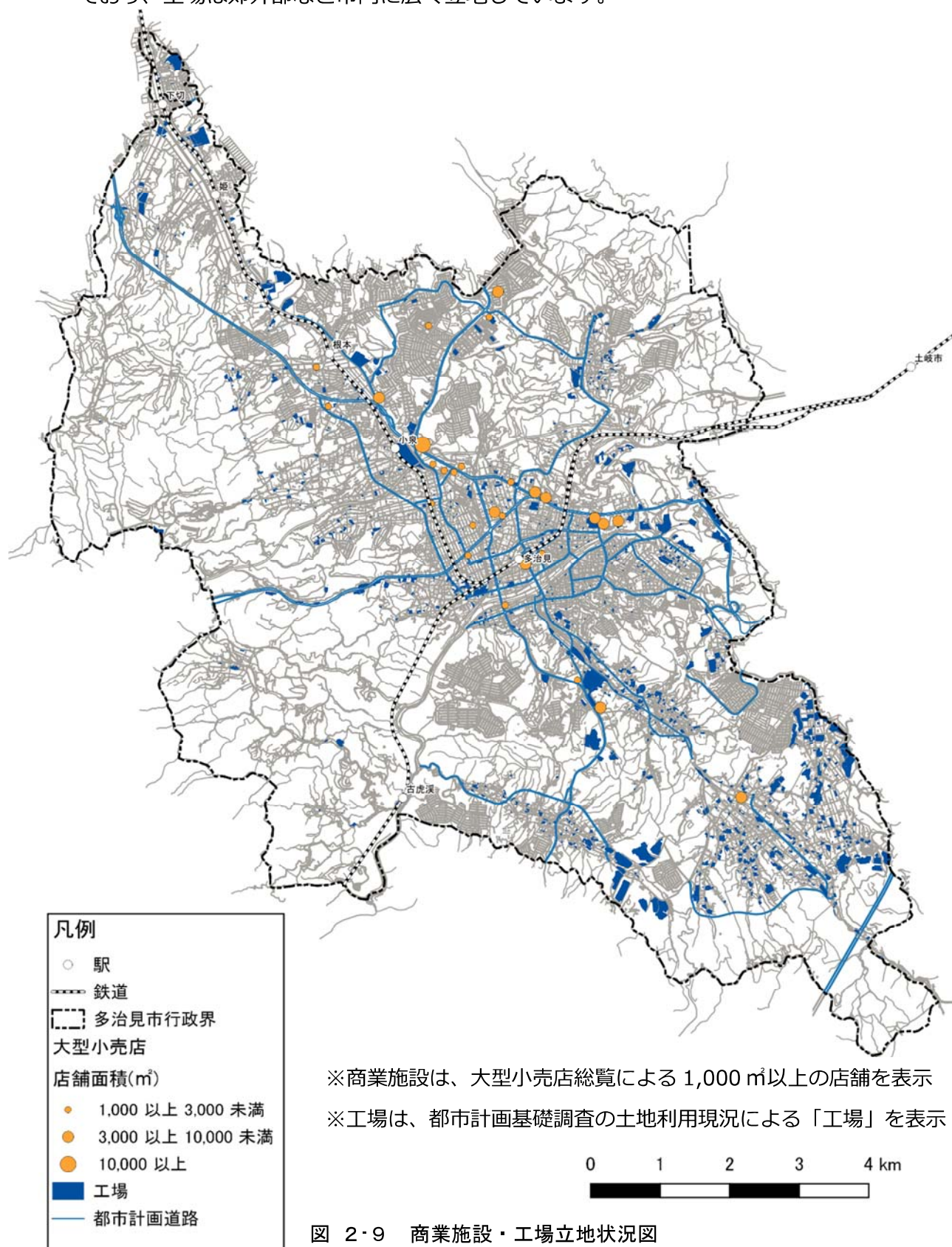


図 2・9 商業施設・工場立地状況図

(H27 大型小売店総覧、H25 岐阜県都市計画基礎調査)

3. 通勤・通学流動状況

- 平成 22 年国勢調査における通勤・通学流動をみると、市内が 50.0%と最も多く、次いで名古屋市、土岐市、可児市の順となっています。
- 平成 17 年からの推移をみると、名古屋市への流出はやや減少した一方、可児市、御嵩町への通学者、豊田市、御嵩町への就業者が増加しています。

表 2-3 多治見市からの通勤・通学流動状況

		平成22年				平成17年				平成22年/平成17年		
		15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	計	通勤・通学 依存率	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	計	通勤・通学 依存率	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	計
就業・就学者数		55,535	5,940	61,475	100.0	58,958	6,336	65,294	100.0	0.94	0.94	0.94
通勤・ 通学先	多治見市内	28,179	2,557	30,736	50.0	32,026	2,897	34,923	53.5	0.88	0.88	0.88
	他市区町村	27,356	3,383	30,739	50.0	26,932	3,439	30,371	46.5	1.02	0.98	1.01
	名古屋市	7,711	1,131	8,842	14.4	8,616	1,232	9,848	15.1	0.89	0.92	0.90
	土岐市	3,600	471	4,071	6.6	3,484	511	3,995	6.1	1.03	0.92	1.02
	春日井市	3,301	195	3,496	5.7	3,359	198	3,557	5.4	0.98	0.98	0.98
	可児市	3,254	250	3,504	5.7	3,359	208	3,567	5.5	0.97	1.20	0.98
	瀬戸市	1,093	93	1,186	1.9	1,151	154	1,305	2.0	0.95	0.60	0.91
	瑞浪市	868	293	1,161	1.9	952	362	1,314	2.0	0.91	0.81	0.88
	小牧市	1,159	25	1,184	1.9	1,120	23	1,143	1.8	1.03	1.09	1.04
	美濃加茂市	636	82	718	1.2	597	82	679	1.0	1.07	1.00	1.06
	豊田市	518	58	576	0.9	458	67	525	0.8	1.13	0.87	1.10
	御嵩町	394	22	416	0.7	313	14	327	0.5	1.26	1.57	1.27

は平成22年/平成17年の変化率が1.1倍以上

(国勢調査)

3. 交通需要特性

① 目的別発生集中量の推移

- PT 調査による、多治見市における目的別発生集中量の推移をみると、出勤・登校・業務目的の割合が低下する一方、自由目的（買い物や通院など）の割合が上昇しています。

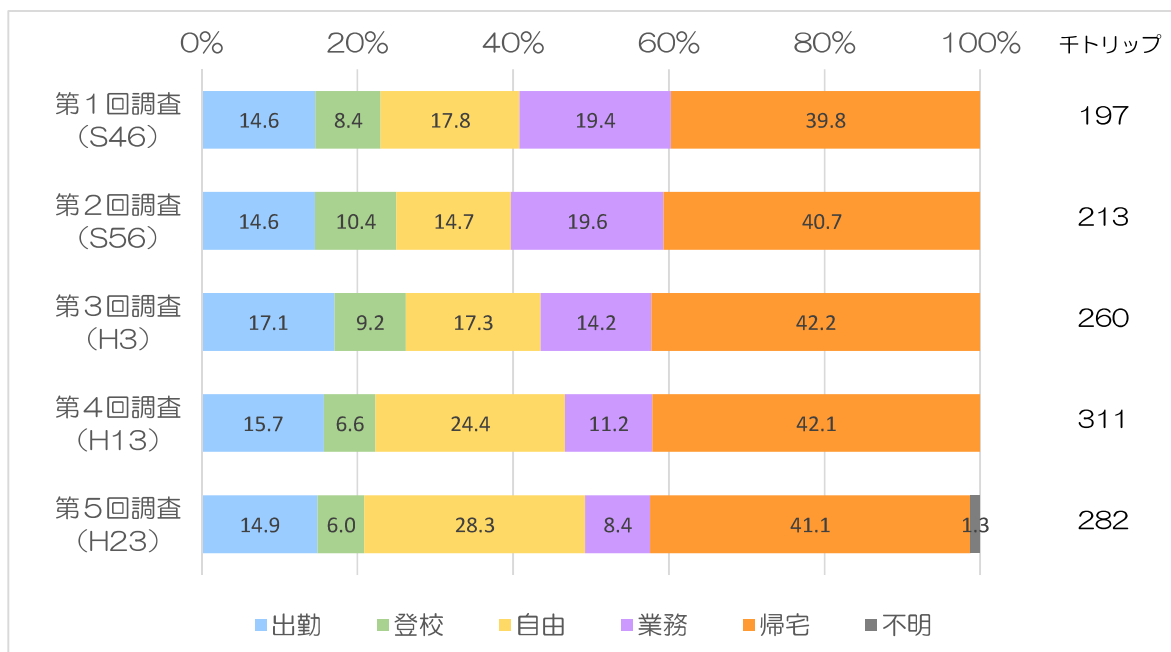


図 2・10 目的別発生集中量構成比の推移

(中京都市圏パーソントリップ調査)

②代表交通手段別発生集中量の推移

- PT 調査による、多治見市における代表交通手段※別発生集中量の推移をみると、バスや徒歩の割合が低下する一方、自動車利用の割合が上昇しています。

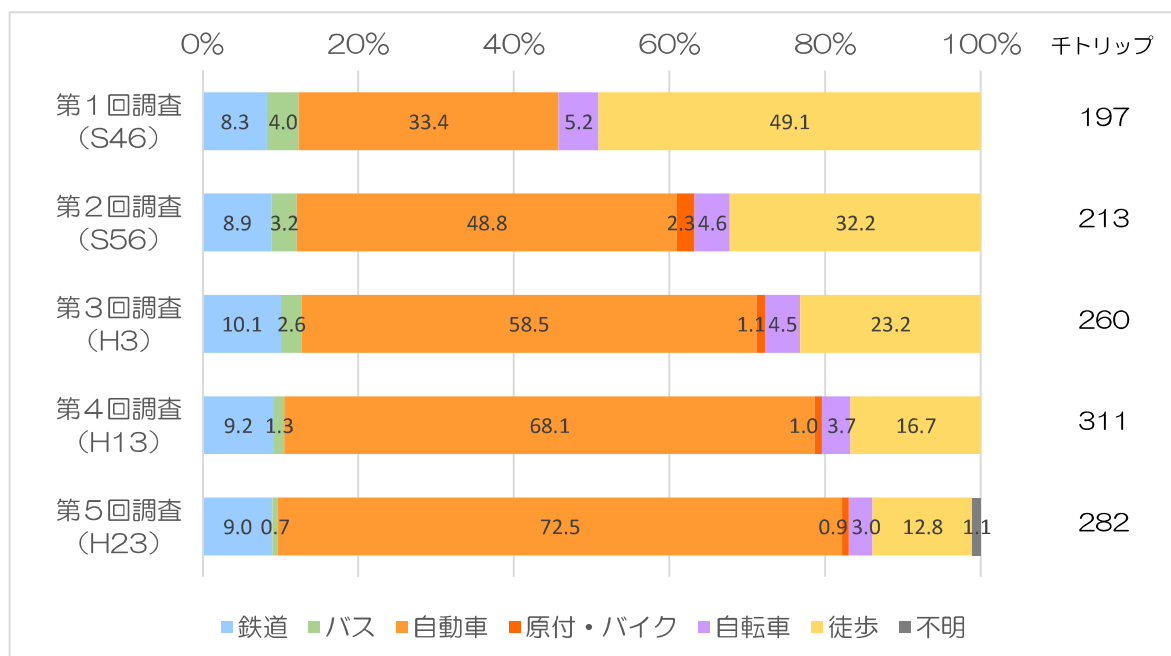


図 2・1 1 代表交通手段別発生集中量構成比の推移

(中京都市圏パーソントリップ調査)

※代表交通手段：目的を持った移動の中でいくつかの交通手段を用いた場合に、最も優先順位の高い交通手段のこと。代表交通手段を決める優先順位は、鉄道→バス→自動車→二輪（自転車、原付・自動二輪車）→徒歩の順で決定します。

4. 道路交通状況

①現況自動車交通量

- 平成 22 年度道路交通センサスにおける平日 12 時間の断面交通量をみると、国道 19 号で 2 万～3 万台/12h を超える交通量が観測されており、国道 248 号で 1 万台/12h を超える交通量が観測されています。

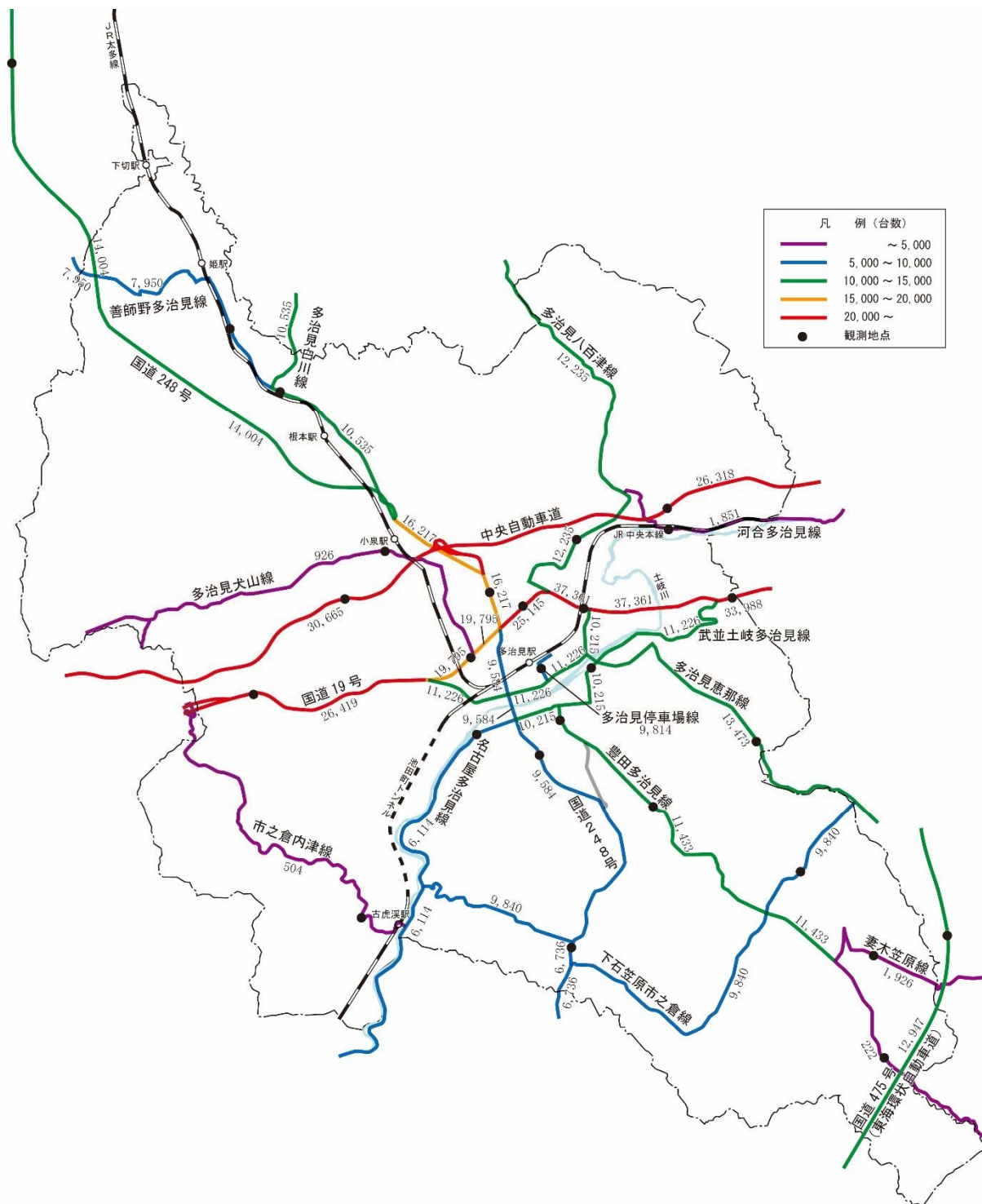


図 2・1 2 現況自動車交通量図

(H22 道路交通センサス)

②自動車交通量の推移

- 平成 22 年度と平成 17 年度の道路交通センサスにおける断面交通量を比較すると、ほぼ横ばいの状況となっています。

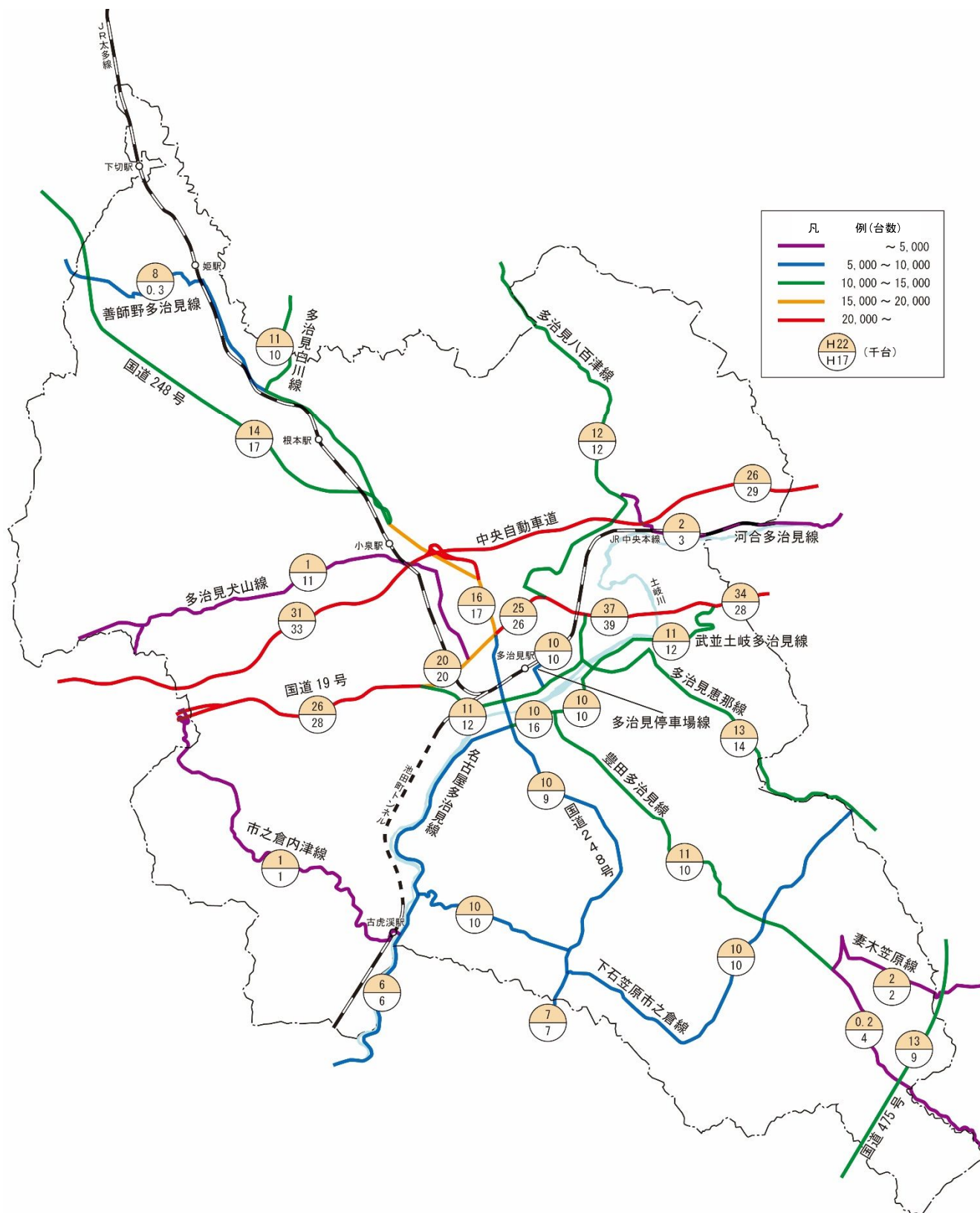


図 2・13 現況自動車交通量の推移

(道路交通センサス)

③混雑時平均旅行速度

- 平成 22 年度道路交通センサスにおける混雑時平均旅行速度をみると、多治見駅周辺の土岐川を横断する道路や、多治見 I C アクセス道路で 20km/h を下回っています。

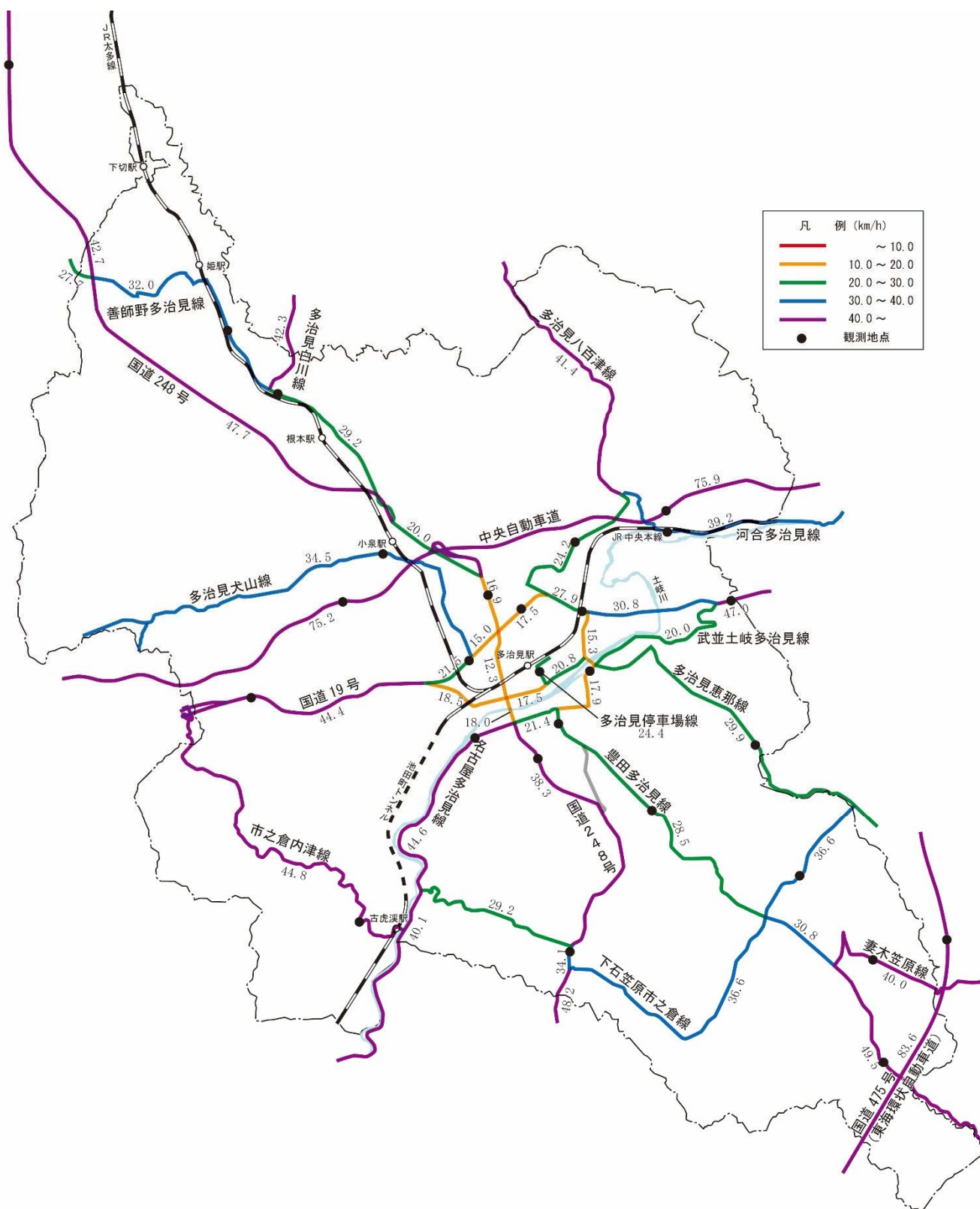


図 2・14 混雑時平均旅行速度

(道路交通センサス)

5. 都市交通の問題・課題

- 都市計画道路の整備率は、平成 28 年 4 月現在、約 54%と未整備区間が多く残り、整備済み都市計画道路が連続していない状況にあります。また、多治見市は地形的な特性上、土岐川により南北に分断されているとともに、鉄道による分断もあることから、特に南北方向の道路網が脆弱な状況となっています。
- 交通発生源となる人口分布は、多治見駅周辺の既成市街地や郊外の住宅団地において多くなっており、放射状の道路網により、市中心部の交通集中による渋滞発生要因の一つとなっています。
- 事業所数、従業者数は減少傾向にあるものの、製造品出荷額等は近年回復傾向にあり、通勤交通や産業交通は依然として見込まれる状況にあります。
- 人口は将来的に減少する見込みであるものの、自動車の利用割合は年々増加していることから、当面は自動車交通の発生集中量は減少しないものと推測されます。
- 道路交通センサスによる混雑時平均旅行速度は、多治見駅周辺の土岐川を横断する道路等で 20km/h を下回っており、交通集中による渋滞発生が伺えます。



- **特に南北方向の道路網が脆弱な状況にあり、交通集中による渋滞が発生している現状にあることと、今後も当面は自動車交通の減少が見込まれないことから、渋滞解消等の問題を解決する道路網のあり方について、現行都市計画道路の整備の必要性とともに、新たな道路網の構築を含めた検証を行う必要があります。**